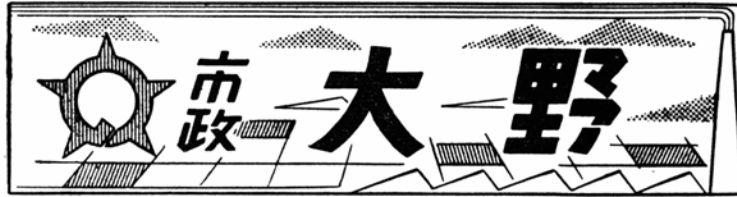


発行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-9600
夜間 6-9601
印刷 松浦印刷所



5月の人口の動き
出生男 44女 29計 73
死亡 14 13 27
転入 173 182 355
転出 165 169 334
世帯数 9,369
人口 45,198
男 21,709 女 23,489



(写真上は 第3期工事の完成と
下は 第4期の工事現場)

市内第一を誇る教育の殿堂 統合中学「尚徳」の講堂近く完成

尚徳中学校の新築工事は、去る35年に総工費1億1千800万円を着工以来第1、2、3期工事として鉄筋コンクリート2階建(一部3階)2棟が完成し、今講堂の建設が急がれています。

1~3期工事は、工費7千124万7千円で普通教室15室、特別教室7室と管理室4室、便所など

です。講堂は工費2千600万円、建坪964 m^2 の鉄骨鉄筋コンクリート造り(下部は鉄筋、上部は鉄骨鉄板ぶき)で、完成は8月末の予定です。

今年末には寄宿舎もお目見えし、引き続き給食室が完成の暁には、近代施設の完備した名実共に当市第1号のモデル統合中学校が出現するわけです。

納期は6月末日 市民税第1期

異議の申し立ては7月20日までに

37年度では、土地の基盤整備の他に建坪87.75 m^2 の鉄骨ビニールハウス(共同電熱育苗施設)と大型穀類乾燥施設(1日950俵乾燥)を新設する予定でしたが、今年度事業へ繰越されました。

ことしは24haの区画整理とトラクター、スピードグスター(大型防除機)格納庫を新設する予定です。

パイロット事業は、昨年農業構造改善のモデル地区として、国の指定を受け、37年から3カ年連続で、総事業費8千800万円で、67.22haの土地の基盤整備と、近代的な共同施設(育苗、乾燥場)の充実と大型農業機械(稲刈機、トラクター、防除機)を購入し、生産手段の近代化によって、生産費の節減と所要労力を低減して酪農や園芸の振興に振りむけ、農業所得の向上が目的です。今後農業の構造を改善するための手本ともいべきもので、市はこの指導援助に全力を尽しています。

総事業が完了すれば、耕起から収穫調整出荷まで完全な機械化作業によって行われます。

田植はじまる

下庄地区パイロット事業

下庄地区のパイロット事業は、昨年10月着工以来順調に工事が進行し、5月20日から一部田植えが始まり、6月中旬には、37年度事業分43.2ha(43町2反)の田植が終る予定です。

この事業は上下両中野、庄林、西市の水田を1区画0.3~0.6ha(3反~6反)単位の区画整理と、用排水路、農道の整備並びに農業機械、乾燥施設等の建設であります。

区画整理では水田の片側が幅、深さ約0.5mの用水路、片側は幅1m深さ1.2mの排水路と幅4.5~5.5mの農道の順に整然となっております。

耕起、田ごしらえは、県有トラクター3台と38年度事業で買ったトラクター1台で行なわれ、田の高低に対する

心配はないようです。トラクター1台で1日4haの耕起ができ、用排水路も完備しております。

基盤整備に2千900万円

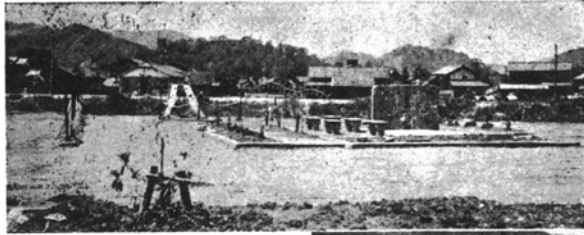
これら基盤整備の事業費は、2千880万円で、国の補助が1千440万円、県の補助、345万6千円、市の補助が144万円で地元負担は950万4千円となっております。



(写真はトラクターによる耕起)

事業所調査に協力を

7月1日現在で事業所調査が行なわれます。これは農林水産業や公務を除く国じゅうのあらゆる事業所を調べ、その分布や活動状態を把握するのが目的です。調査員がおうかがいますからご協力をお願いします。



駅東土地区画整理事業は、工事着手以来道路を重点に水路や公園の新設工事が進められ全事業の80%が完成し、いま広さ7千920m²の清滝児童公園の造成工事が急がれており、本年度で全工事が完成します。

同事業は昭和94年に新しく宅地造成を行ない、都心部の人々を分散し新市街地を形成して、交通事故や不時災害を少なくしようと国鉄大野駅の東側約41haの土地区画整理事業(5カ年計画)に着手したものです。

事業のおもなものは、幅6～10mの区画街路21線で延長5千605m(290m)4つの水路で延長1千902m(420m)、排水溝8千918m(850m)、駅東、清滝児童公園総面積1万1千880m²などでその他に都市計画街路として、幅16mの国道、清滝線をはじめ、駅東線・上神明線など6線で、延長2千941m(1千141m)が新設されます。(カッコ内は未 completion で、街路図は本紙96年6月号を参照)

区画整理の総事業費は約7千296万円

本年度に全工事完成 駅東土地区画整理



で、経費は保留地の売り払い金と、国道の道路敷地代でまかなわれます。(写真は完成した公園と道路)

でき上がった竜仙橋

市道伏石、柿ヶ島、下野緑線の九頭竜川にかかる竜仙橋は、災害復旧工事着手以来3年ぶりにこのほど完成しました。

この橋は94年の伊勢湾台風で流され翌年総工費2千826万円で延長114.5m幅3.6mのピーエスコンクリート橋と取り付け道路、唯野側93.4m、柿ヶ島側60mの復旧に着手し、工事が急がれていたもので、市道関係の永久橋では八千代橋に次ぐものです。

(写真は完成した竜仙橋と災害当時の同橋)

上野子供会が表彰

子供の日に毎日新聞から

5月5日、子どもの日に富田地区上野子ども会が毎日新聞社から県下でただ一つの表彰を受けました。

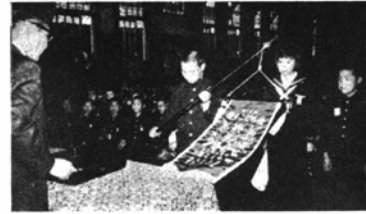
この表彰は各県における優良な子ども会または社会のためになるような善行子ども会に対して行われるもので、表彰旗と表彰状が当日富田小学校で毎日新聞社から授与されました。

上野子ども会は国鉄富田駅の清掃を

したり、花をかざったり、作品展示、ポスターはがしなど数々の善行が認められたものです。

なお市教委では青少年の健全育成を重点的にとりあげ、とくに子ども会の育成が広く浸透するよう子供会幹部研修会などを行なっています。

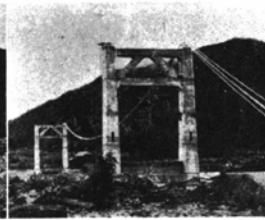
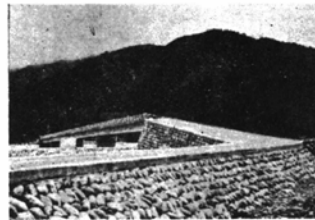
(写真は表彰旗を受けとる上野子供会の代表)



少年の相談は 愛護センターへ

市は青少年を良い方へ導き、悪の道に落ち込むのを防ぐために、5月から愛護センターに専任補導職員を配置し少年相談室を設け、街頭での補導を強化するなど青少年補導を重点に、学校警察など関係機関と連絡をとりながら不良化防止に一段と力をいれることになりました。

愛護センターは、昨年5月に青少年の育成補導の実践活動体として、教育福祉、更正、保護など関係機関の共同活動の場として大野公民館内に設置されたもので、こしは、家庭外の補導と少年相談室の開設に重点がおかれて



○… …○

喜ばれた季節保育所

こしも各公民館、婦人会が中心となつて5月初めから1ヵ月間、市内24カ所で季節保育所が開設され、農家の方々安心して仕事に専念することができて大変喜ばれました。

毎日約800名の幼児が朝の6時からここで楽しい一日を過ごし、夕方の6時

にいそいそと母の手にひかれて帰る姿は心のあたたまる光景でした(写真は楽しく遊ぶ子どもたち)



腸パラチルス予防接種

- 対象者 4才以上60才まで
- 手数料 10円
- 時刻は1～2時まで

- 6月7日 乾餅小学校 富田
- ”10日 上庄” 打波” 下打波” 勝原
- ”11日 藤生” 松丸分校
- ”12日 小山小学校 下庄”
- ”14日 森口” 阪谷”
- ”17日 五条分校
- ”18日 吉”
- ”19日 六呂師小学校

農地(畑および売り渡された採草地を含む)は許可を受けなければ宅地や工場の敷地にするために埋め立てることはできません。

最近、道路や鉄道の敷地を含め宅地化される面積は全国では年間5万haといわれ、ちょうど福井県の耕地面積に相当し、このまま宅地化が進みますと50年後の日本の耕地はゼロということになります。このため国はきびしい転用許可基準を作って制限を加えています。

市は5月10日開催の農業委員会で農地の転用制限の適正強化を申し合わせ転用基準によつて農地を第1種から第9種までに分ち、第9種農地では転用許可を行ない、第1種農地については許可をしないことになっていきます

もし許可前に転用した場合は、立退きおよび懲役または罰金が課せられますからご注意ください。

なお宅地転用は

駅東区画整理地内に求められるよう市では望んでいます。

詳細は農業委員会(農務課内)または最寄りの農業委員にお尋ねください。

アカシヤを皆んな で育てましょう

こしの大雪で六間の街路樹約4割が折れたので、市では埼玉県から5年生のアカシヤ70本を購入し、この植えかえとグリーンベルトの手入れなどを市助役をはじめ、商工課員らの手によつて5月9日から3日間行ないました。

補植されたアカシヤが今後だれにも

傷つけれられることなく生き伸びるようみんなで大事に育てたいものです(写真はアカシヤの補植作業)



あほなこっちゃん

時の記念日
無形文化財に指定されました。
大野時間

アホナコッチャ!

税務署では毎月5、15、25日の3日間(日曜、祝日の場合は翌日)税の相談室を開きます。相談室は税務署の2階です。国税、地方税を問わず税に関することならどんなことでもご相談に応じます。

毎月5の日は
税金の相談日

スポーツの祭典
二十九日有終中学校で

日本体操祭大野市大会は県、市教委主催で来る二十九日午後一時三十分から有終中学校校庭で約三百名の選手を集めて盛大なスポーツの祭典がくりひろげられます。これは毎年五月十九日日本体操祭が全国一斉に行なわれましたが、当市ではこの時期がちょうど農繁期であるため一ヵ月余り延ばして行われるものです。

第二回市民登山の日

日時 六月四日午後七時
集合場所 洞雲寺境内
主催 飯降山奉賛会 大野市親岳会 大野市教育委員会

戦没者の妻に特別給付金

戦没者等の妻に対する特別給付金支給法により該当者名簿を作成しますので、六月十日までにつきの方は住所、氏名を福祉事務所へ届け出て下さい。

昭和十二年七月七日以降に死亡した者の妻でこしと四月一日現在でつきに該当する方

①死亡者が軍人、準軍人その他もの陸海軍部内の公務員、準公務員であったことにより扶助給を受けたい妻

②戦傷病者戦没者遺族等援護法により遺族年金、遺族給与金を受けている妻

所得を届けてください

福祉年金をもらっている人

毎年六月には福祉年金の所得状況届をしなければなりません。六月中に提出しないと現在支給されている年金がもらえない場合があります。この届けは老齢、障害、母子、準母子などの年金をもらっている人や家族の人に、前年度の程度の所得があったかを届け出るので、所得のあるなしにかかわらず六月末までに必ず届けてください。

用紙は市役所市民課または各公民館にありますので、即座と国民年金証書をもつておいでくださいればすべての手続きを行ないます。

あなたは人権を犯 されていませんか

六月一日は人権擁護の日

国民の基本的人権を護り、人権思想を高めるため昭和二十四年六月一日人権擁護委員会法が施行されてから毎年この日を記念してお互いに人権にめざめるように運動がつけられてきています。こしは早くも十五回目の記念日になりましたが、もし私たちの生活の中に住居の安全に対する侵犯、強制住居船便虐待、名誉侵害等の侵犯、労働八分侵犯、差別待遇、私的制裁、村八分さらに騒音、悪臭いわゆる公害など多種多様にわたつて人権が侵害されていると思われたときは、速断なく近くの人権擁護委員会法務局大野支局に申し出るよう心がけてください。

なお市の人権擁護委員は次の四氏が委嘱されています。

- 富島 棟朝
- 中荒井 長頼
- 藤原 清川
- 下堀 松田

国体たより

準備委員や常任委員も決まる

国体を招致するための基本的な構想をねり、企画する参謀本部ともいうべきものが次の方々で組織されました。

◎役員

- 会長 森広治兵衛
- 副々 安間政雄、山本武、山川普順
- 顧問 川崎港、山崎正一、藤堂作衛

◎常任委員 (27名)

- 池田重親、中村奥衛、安川金弥、松田利吉、寺島利鏡、松田正治、野崎四郎、田中新一、松田 境、安川一也、長谷川重治、飛川直治、荒矢定治、佐藤清、久津見心一、栃木広嗣、滝波鏡二郎、岩本喜代栄、谷口春子、松田隆太郎、桑森邦夫、田中義一、松田孝信、松浦弥右エ門、林金之助、畑中太頼、小豆弥作

専門委員と事業計画

準備委員会は専門委員を選び、5月9日初の専門委員会をひらき、今後の事業計画について協議しました。おもな内容は次のとおりです。

1. 演技部

選手強化に重点をおき強化対策委員会を設置して推進する。特に中学生の選手強化をはかる。

強化種目のクラブ活動に対し助成する。

演技の技術指導強化につとめる

2. 宿泊、観光、交通部

選手約900名、役員、報道関係を含めて1千100名位の宿泊を予定し、この受け入れ体制を整備する。このため6月

中に収容施設の実態を調査する
交通関係は京福、大野交通、大野観光等、関係機関で輸送体制の整備について話し合う。

道路の整備、駐車場の確保に努力する。

3. 施設部

イ 競技会場を次のとおり決めました。

○ソフトボール

有終中学校、尚徳中学校、上庄中学校。

○相 撲

体育館を新設して行なう。

○山 岳

取立山をえらぶこととし、コースの設定はなお研究する。

ロ 競技場の整備

ソフトボール競技場のダイヤモンドの土盛りをする。

金網でフェンスを作り、その他の設備を充実する。

4. 市民運動

国体招致の懸垂幕掲げる。

環境の美化運動をすすめる。

健民運動を展開する。

なお専門委員はつぎのとおりです。

○事務局 事務局長 池田重親(助役) ほか9名

○演技部 演技部長 野崎四郎(社会教育課長) ほか14名

○施設部 施設部長 稲津久馬(建設課長) ほか6名

○財務部 財務部長 松田利吉(収入役) ほか6名

○宿舎交通観光部



成績は上々

輸出向チューリップ

市内下五条方、野中、友兼の3地区では、水田約73アールに輸出用花キ球根(チューリップ)の栽培を行なっており、ことしの作柄は豪雪による被害もなく、上々とのこと。植え付けは14万球でしたが、今後さらに面積をふやすため種球として残すので、ことしの輸出は4万球が予定されており、これらをお金に見積ると10アール当り7~8万円の収益となるそうです。

同地区は、3年前から水田の多角利用の試みとして始められたもので、11月中旬に晩種を植え6月中旬に掘り取り、7月に出荷されます。チューリップ栽培は人手間がかからず女や子供でも花を楽しみながら栽培ができ、水田の裏作としては最も有望です。

(写真は咲き揃ったチューリップ)

宿舎交通観光部長 松田孝信(商工課長) ほか6名

○市民運動(広報)部
部長 水上太右エ門(大野公民館長) ほか6名



▼大野市のチューリップ栽培は七十三アール、十四万球で県下で第六位であるがチューリップは気温

C二〇度に近づくにつれて花芽を形成するようになる。従つて砂質土すなわち早生地に出来た球根は早く掘り上げることが出来、その後の乾燥も早いので花芽形成も速い。自然状態では七月上旬に花芽分化するが、酷暑のために一時休眠し秋になつて気温が低くなると花芽は急速に発育してくる。秋の植えつけと共に根は伸長して冬の寒さを迎えるようになる。地表下C〇~三度の厳冬期を越したチューリップは春暖と共に発芽し、僅々六〇~七〇日で開花する。▼雪に一生を捧げた故中谷宇吉郎博士は「雪を恐れず、雪を利用してよ」と言つた。この積雪地帯の水田裏作を考へる時、まことチューリップは好適であり、九頭龍川流域の砂質土壌と扇状地、デルタはこの種の球根栽培の一大宝庫と言えよう。庄川、神通、常願寺、黒部の各河川を有する富山県は、電力と共にチューリップの生産量も全国の七割を確保していることを見てもうなすかれよう。▼P・Rや組織的な機構編成の未熟さは今後の課題として、とりあえず生産技術の向上を期してこの単作地帯からの脱皮を急がねばならない。▼最近アメリカ人たちはヒガン花の球根を欲しがつていて、リンドウのきれいな花と共に野生植物の繁殖にすら一考を要する時期でもある